



「ShowNaight」は、3年前に震災のチャリティイベント「ShowNaight」

若い世代で庄内・酒田をもっと活性化しようと、3年前から開催している音楽と食のイベント「ShowNaight」。このイベントの代表を務める押切さんは、市内で美容院を経営しながら8月開催のイベントの準備に当たっています。

押切さんは、東日本大震災の直後にインターネットで見つけた理容関係のボランティアに応募し、その年5月に被災地の宮城県南三陸町へ駆け付けました。

「髪を切るボランティアで、地元の人から『ありがとう』と感謝されたとき、自分に使命感のようなものが沸々と湧き上がってきました」と、3年前に震災のチャリティイベント「ShowNaight」

被災地へのボランティアがきっかけ



さかたの風

今月の人

Oshikiri Yukiko

押切 由紀子 さん(日の出町(勤務先))

ShowNaight実行委員長

地域に夢と希望と元気を

「ight」を思いついたらきっかけを話してくれました。

初回のイベントでは、多くの人から集まってもらいたいという思いが強い反面、イベント運営が思い通りにならないことも。その悔しさが逆にバネになり、より良いイベント作りを模索してきました。

「人から喜んでもらうことが自分のやる気にもつながります。これからはもっと多くの協力者を得ながら、質の高いイベントにすることで知名度を上げ、地元出身で県外にいる若い人たちからも『酒田っていいなあ』と感じてもらえれば」と前向きです。さらに若い人たちへ期待を込めてエールを送ります。

「私たちが頑張れば地域はもっと良くなることを若い人たちにも気付いてほしいし、それを伝えていきたい。そのためにはイベントを成功させたいですね」

押切さんの夏のイベントにかける思いがまさに熱風のごとく伝わってきました。

ShowNaight2014

日時/8月31日(日)午後1時~8時

場所/酒田北港緑地多目的広場▼

チケット/haitake Yonne (日)

の(日) ShowNaightホームページ

東北公益文科大学

キャンパスレポート 28

「外国人おもてなしマニュアル」完成!

和田 梨里(1年)

私たちは、酒田の魅力を外国人観光客の方々にもっと知ってもらうために、何か手助けしたいという気持ちから「外国人おもてなし隊」を発足させました。

庄内在住アメリカ人のトンプキンスさんに添削をお願いし、英語に興味のある公益大生5人にも協力してもらい、ついに7月初旬に「外国人おもてなしマニュアル」が完成しました。これは外国人観光客の目線に立って、ホテルや旅館などで翻訳してあれば便利な日本語を厳選し、英語に翻訳してまとめた冊子です。今回の「外国人おもてなしマニュアル」をバージョン1とし、今後はフロントに立ち実際に接客する人の立場になって、おもてなしをする際に使える英会話集をまとめるなどの活動も行っていこうと思います。



東北公益文科大学広報担当 ☎41-1117

旬の食材を使った料理を酒田市食生活改善推進員が紹介します

酒田の旬 4

夕顔のけんちん



夕顔はウリ科の食材で、煮物やあんかけ、炒め物などで食べられます。今月は暑い夏におすすめの、青ジソの香りがきいた「けんちん」を紹介します。

【材料】(4人分)

- 夕顔・・・400g
- 青ジソ・・・6枚程度
- しょうゆ・・・大さじ2
- サラダ油・・・適量
- みりん・・・大さじ1

【作り方】

- 夕顔は皮をむき、種とわたを取って食べやすい大きさ(1cm厚程度の拍子木切りなど)に切る。青ジソは千切りにする。
- 鍋に材料に合わせてサラダ油を熱し、夕顔を炒める。油がまわったらAを加え、さらに炒める。
- 夕顔に味がしみたら、青ジソを加えてひと混ぜする。火を止め、器に盛る。

食生活改善推進員からの

ワンポイント

夕顔は、繊維に沿って切ると歯応えが残りにやすく、繊維を断つように切ると柔らかく仕上がります。

おしごと拝見

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。

vol. 16



本社



エンターテインメント事業部 技術部長 佐藤 久志 さん

エンターテインメントから産業機器まで

当社はコンピュータ技術を使った広範囲なソフトウェア、ハードウェア開発を行う専門企業です。コンテンツ開発を行うエンターテインメント部門と、ハードウェアや組み込み開発を行うシステムソリューション部門があります。

東京（秋葉原）にあるグループ会社と連携し、顧客企業からの受託開発を中心に事業を展開しています。

製品の企画立案から開発、完成に至るまで、一貫したものがづくりを行うことができるのが特長です。

あのゲームもメイドインサカタ！

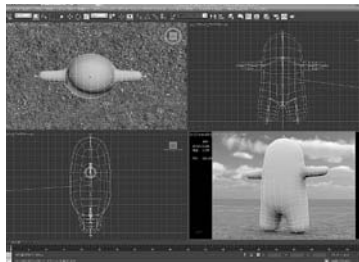
当社はこれまで地元酒田で、特に家庭用ゲームソフトや業務用アーケードゲーム機など200種ほどの製品を制作してきた実績があります。ショッピングセンターの屋内遊戯施設で見かける製品には、当社が開発したのも数多くあります。

5年ほど前になりますが、当時の日本中の小学生をとりこにした「ムシキング」や「ラブアンドベリー」も当社が開発に参画した製品です。

私たちはこれからもエンターテインメントを通して、お子さまから年配の方まで、あらゆる方々に喜びや笑顔、夢や感動を届けていきます。

【企業の概要】

治 革 昭和60年、東京都台東区にあるエス・イー・エス株の子会社として設立
 商 号 酒田エス・イー・エス株式会社
 資 本 4,000万円
 住 所 酒田市あさほ町654-1 ☎23-1750
 代 表 取締役社長 渡部 宏一
 従業員数 11人
 事業内容 家庭用ゲームソフトおよびアーケードゲーム開発、各種ハードウェアの受託開発、フォームウェア開発
 ホームページ <http://www.sas-sakata.co.jp/>



制作途中のキャラクター

デザイナーのこだわりが少しずつ形になります。



オフィス風景

何度もトライアンドエラーを繰り返し、面白さを追求しています。

あったかいご 62

お問い合わせ／市介護保険課予防支援係 ☎26-5755

これからの療養の場を考える

皆さんは自分の最期をどこで迎えたいと考えますか。

国の意識調査では5割以上の方が、自宅で最期を迎えたいと希望しています。しかし実際は病院で最期を迎える方が7割以上と圧倒的に多く、自宅で亡くなるのは1割程度です。病院は積極的な治療を行う場として長く療養する所ではなくなっており、介護施設は高齢者数の推移予測からベッド数を大きく増やすことが見込めない状況です。このような中で、これからは在宅での療養を選択する方が増え、在宅療養のニーズはますます大きくなるものと思います。私たちは、病院で亡くなるのが当たり前という考えを柔軟に見直す時期にきているのかもしれない。

在宅医療は自宅での暮らしを支えてくれる資源の一つです。定期的な訪問診療や急に具合が悪くなったときの往診などがあり、検査から投薬・点滴などの各種治療が可

能です。基幹病院と在宅かかりつけ医との連携も進んでいます。

また介護保険のヘルパーや訪問看護師、福祉用具、その他利用できる地域の資源をうまく活用することで、最期まで自宅で過ごすという希望にも対応できるようになってきました。

本市でも一人暮らしや高齢者夫婦の二人暮らしが増えていきます。療養が必要になったとき、どのように過ごしたいか、どんな医療を受けたいか、最期はどこで迎えたか、元気なうちから家族へ伝えておくことが大切です。

